

IoT、AIを活用した防犯システムの調査・研究報告

平成30年(2018年)3月29日

公益社団法人 日本防犯設備協会

防犯システム委員会

目次

- はじめに 1)防シ委員会紹介
2)当調査・研究の選定背景・目的

第一章 IoT、AI動向の再認識・整理

- 1)デジタルイノベーションの時代到来
*日本 Society5.0も踏まえて
- 2)IoTのリスク(脅威)と対応
- 3)AI そして 新たな価値創造

第二章 防犯設備機器市場概覧(国内)

- 1)業界市場環境
- 2)IoT化への現状・今後
- 3)システム別/用途別 金額動向
- 4)革新技術の導入・AI活用の活性化

目次

第三章 本年度研究対象用途の絞込み・課題抽出

- 1) 防犯コンサル現場経験者とのヒヤリング
- 2) 外部調査・統計データとの精査
- 3) 本年度の研究用途・課題の抽出

第四章 研究対象用途・課題へのIoT×AI活用ソリューション紹介

- 1) スマートホーム(戸建・共同/マンション)
- 2) スマートコミュニティ(地域)
- 3) スマートホーム/スマートコミュニティの実践事例 紹介

第五章 まとめ

- 1) 調査・研究のサマリー
- 2) 今後の取組み

目次

第三章 本年度研究対象用途の絞込み・課題抽出

- 1) 防犯コンサル現場経験者とのヒヤリング
- 2) 外部調査・統計データとの精査
- 3) 本年度の研究用途・課題の抽出

第四章 研究対象用途・課題へのIoT×AI活用ソリューション紹介

- 1) スマートホーム(戸建・共同/マンション)
- 2) スマートコミュニティ(地域)
- 3) スマートホーム/スマートコミュニティの実践事例 紹介

第五章 まとめ

- 1) 調査・研究のサマリー
- 2) 今後の取組み

本年度の調査・研究のサマリー

- 1) 第4次産業革命に対し、日本はSociety5.0を打ち出し、「未来投資戦略」2017.6 閣議決定のもと推進されている。
- 2) 「未来投資戦略」において、協会、各委員会としては快適なインフラ・まちづくり、サイバー攻撃に対する来たるIoTセキュリティ認証への推進に尽力する必要があるであろう。
- 3) IoT、AIのメリット・リスクを正しく認識する必要がある。加速はとまらない。しかけるのはサイバー空間/インターネットの覇者米巨大IT企業かも。(Amazon、Google、Facebook、・・・)
- 4) 防犯設備機器・システム市場は、今後もフォロー要素(国際イベント等)も含めて成長、IoT化の推進とともに、AIの活用は防犯でも広がる。但し防犯+ α 、例えばマーケティング、快適・便利さも兼用できる顧客本位の価値提供が重要。
- 5) 防犯設備士、総合防犯設備士に持ち込まれる案件、ならびに警察庁データ等から今年度調査・研究はスマートホーム(戸建、マンション/共同住宅)、スマートコミュニティ(地域)で安全・安心+快適さのIoT・AI活用ソリューションにFocus。
*スマートコミュニティは「未来投資戦略」の快適なインフラ・まちづくりにも合致する研究にもなる。その構成要素の一つはスマートホームでもあり有意義。

本年度の調査・研究のサマリー

- 6) スマートホームは民間警備会社・IT企業各社で安全・安心・見守り要素で展開中。モバイルポータルデバイス(スマホ)との連携は顧客のハンドルの手軽さからマストな内容になりつつある。またクラウドサーバー機の価格低下により、コストバリエーションが下がり、クラウド活用のメリットが大きくなってきている。外部からの見守り(人物検知)は、反面、プライバシー保護の通念とのバランスがとられる必要あり。より快適さ要素は、これからの各家電等IoT接続含めて進化か。
- 7) スマートコミュニティはIT企業間の連携、プラットフォームによる機器間連携等により進展中。ただ実用化展開は、顧客主体の付加価値とビジネス利益モデルの中、まだ実証段階か。ただ時間の問題で実証から実用化は日進月歩か。また警察、民間警備での未然防犯対応は意義ある展開。なお、モバイルポータルデバイス(スマホ)で地域住民が自ずと見守りあう仕組みは新鮮で、まさに人間中心の地域の原点か。ただスマートホームと同じく、プライバシー保護の通念とのバランスがとられるソリューションは必要あり。
- 8) 自治体の問題意識によって、地域防犯・スマートコミュニティがどのように広がるかの成功例は、有効に活用したい。

「目次」、「まとめ」のみ公開。

更なる詳細内容は防犯システム委員会 事務局担当までお問い合わせください。

問合せ先
公益社団法人日本防犯設備協会
担当:土生 俊悦
TEL:03-3431-7301
E-Mail:s.habu@ssaj.or.jp